

畿央大学現代教育研究所 主催

学びを結ぶ ワークショップ VI

●内容紹介

ワークショップ1：奥田 俊詞（教育学部 教授）

「速さを活用して、ロボットを思い通りに動かそう」対象：学校教員，教育関係者

教科学習をより効果的なものにするためにロボットプログラミングを利用する学習活動として、「ロボットプログラミングによる速さの学習」を提案します。地域の小学生に参加を依頼しており、自らが考える動作の実現を目指して児童が試行錯誤を繰り返す体験を行う公開授業を行います。ご参加の皆様には、その様子を参観していただき、参観後に実践授業の研究協議を行います。なお、参加小学生の応募状況によっては、公開授業を別内容に変更する可能性がありますのでご了承ください。

ワークショップ2：島 恒生（教育学部 教授）

『特別の教科 道徳』の授業づくり対象：小・中学校教員、教育関係者

「特別の教科 道徳」が、小学校ではこの4月から全面实施となりました。中学校では、来年度からスタートです。「考え、議論する道徳」の授業は深まっていますか。準備はできていますか。「考え、議論する道徳」は、次期学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の先取りです。「考え、議論する道徳」の実現をめざし、基本的な考え方を押さえながら、ねらい、主題名、発問、展開、評価などの具体的な授業づくりやその工夫について実践的に考えます。また、学校としての推進体制などについても考えます。

ワークショップ3：古川 恵美（教育学部 准教授）

「ペアレント・トレーニング指導者の基礎を学ぼう」対象：発達障害のある子供に関わる教育関係者、支援者

発達障害のある子供とその家族支援としてペアレント・トレーニングが注目されています。それぞれの子供が持つ特性を保護者が理解し、保護者が感じている行動の問題を整理し、保護者や養育に関わる人々が適切な子育ての技術を獲得することに役立ちます。今回は、日本ペアレント・トレーニング研究会が開発された「ペアトレ基本プラットホーム」に基づき、おさえておきたいペアレント・トレーニングの内容・運営について学びましょう。指導者養成講座の基礎編の内容です。

【昼食交流会】

R棟1階食堂にて、軽食を準備いたします。お食事をしながら、教育に関する気になる話題、うれしい話題などを交流しましょう。

【申 込 票】

ご参加を希望されるワークショップ、昼食交流会の ☐ にチェックをしてください。

※第 1 部と第 2 部は、 同じ内容です。	ワークショップ 1 P 棟 3 階 P301 講義	ワークショップ 2 P 棟 2 階 P204 講義室	ワークショップ 3 P 棟 3 階 P302 講義室 ※午前～午後通しで実施
第 1 部 10：00～12：00	☐	☐	☐
第 2 部 13：30～15：30	☐	☐	
昼食交流会 12：10～13：20	☐		

※以下の点、ご了承ください。

- ・ワークショップ1と2を午前と午後で選択いただいた場合、順番を入れ替えさせていただく可能性があります。
- ・お申込み状況によりご希望に添えない場合があります。

ふりがな	
氏名	
勤務先・所属（※任意）	
連絡先住所	〒 —
連絡先電話番号	
E-mail	

【申し込み方法】

上記必要事項を明記の上、FAX またはメールにてお送りください。

FAX：0745-54-1600 E-mail：rime@kio.ac.jp

お送りいただきました個人情報は本ワークショップ以外では使用いたしません。

※満員によりご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

連絡がない場合はご参加いただけますので、当日、受付までお越し下さい。